

令和2年1月6日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

～公園・夢プラン大賞 2019「実現した夢」優秀賞を受賞～

県立勢多農林高等学校、前橋工科大学 地域・交通計画研究室等との連携事業

稲作プロジェクト「おむすびで結ぶ るなばあく」

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）の子会社である株式会社オリエンタル群馬（代表取締役社長：中埜智親）は、管理運営を行う前橋市中央児童遊園「るなばあく」内で官民連携6次化カフェ事業の飲食店「おむすびのママ」を企画運営しています。

おむすびのママは、群馬県立勢多農林高等学校、前橋工科大学地域・交通計画研究室とともに、6次化カフェのお客様に提供するおむすびのお米を生産から加工、販売までの農業6次産業化を実現するため、2017年3月より前橋市富士見にある遊休農地を活用した稲作プロジェクト「おむすびで結ぶ るなばあく」に取り組んでいます。この度、その取り組みが、一般社団法人公園財団主催の『公園・夢プラン大賞 2019』において評価され、「実現した夢」部門の優秀賞を受賞しました。

《公園・夢プラン大賞 2019 受賞のポイント》

- ・田植えから稲刈り、脱穀、加工、おむすび販売までの6次産業化を実現
- ・遊休農地を活用し、地域の人材（県立勢多農林高等学校、前橋工科大学、近藤スワインパーク、地元農家）、や公園（前橋市中央児童遊園）などの地域資源を有効活用した教育の場として活用
- ・農業や緑・公園を理解する将来の人材育成のため、米づくりの農家から若者へと継承するきっかけづくり

《公園・夢プラン大賞 2019 概要》

- ・主催）一般財団法人 公園財団 共催）一般社団法人 日本公園緑地協会
- ・概要：「公園・夢プラン大賞は、全国の公園緑地を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集し、審査表彰するもので、公園を楽しく使いこなす人々を更に増やしてゆくことを目指しています。」
- ・募集期間：2019年4月19日（金）～9月30日（月）
- ・受賞結果の詳細はコチラのホームページをご覧ください。 <https://yumeplan.prjf.or.jp/>

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL: <http://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、丸山

【稲作プロジェクトの活動内容】

①米づくり活動

前橋市の高校生（群馬県立勢多農林高校）、大学生（前橋工科大学 地域・交通計画研究室）、市民、農家、地元企業らが一緒になって、前橋市富士見地区の遊休農地を活用し、米づくりをしています。米づくり活動は、高校と大学の授業の一環として位置付け、市民が参加しながら、農家の指導を受けて実施しています。農薬を極力控え、田植え後の除草剤散布1回のみとしています。手作業にこだわり、手植え、手刈り、天日干しをし、米づくりに愛情を注いでいます。



写真1：高校生、大学生、農家、地元企業総出での田植え実習

②公園における連携活動

中央児童遊園「るなばあく」（都市公園の前橋公園内）で、皆でつくった米を使い、親子を対象としておむすび作りワークショップ「おむすびで結ぶ るなばあく」を実施しています。

- ・高校生が米づくりのストーリーを語り、高校生が子どもにおむすびの作り方を教えます。参加者や来園者からは、「がんばったね」、「すごいね」、「おむすびおいしいね」などのねぎらいの言葉をいただきました。また、自治体、学校関係者、農家からも高評価をいただいています。
- ・ワークショップでの体験と高評価をいただいたことが、高校生らのモチベーション向上にもつながり、2年目の米の品質は各段に向上しました（食味分析の結果による）。
- ・高校生らは活動を通して、学習意欲の向上や、地域、公園への関心の高まりもみられることが検証されました（土木学会論文集に掲載決定）。
- ・現在は親子田んぼオーナー制度へと繋がり、手づくりの米の購入の他、市民が自分たちで育てたお米を食べる機会を提供する仕組みを構築しました。



写真2：高校生による来園者へのおむすび販売



写真3：ワークショップ「おむすびで結ぶ るなばあく」（高校生と参加した親子の皆さん）



賞状

優秀賞

おむすびで結ぶ るなばあく

前橋市 中央児童遊園「るなばあく」(群馬県前橋市)
群馬県立勢多農林高等学校、
前橋工科大学 地域・交通計画研究室 殿

あなたは「公園・夢プラン大賞 2019
実現した夢部門」において素晴らしい
プランを応募され審査の結果頭書の成
績をおさめられましたのでこれを賞します

2019年11月21日

一般財団法人 公園財団
理事長 蓑茂 壽太郎



公園・夢プラン大賞「実現した夢部門」

勢多農高と前工大 優秀賞

遊休地で稲、おにぎり体験



ワークショップで子どもとおにぎりを
作る高校生

一般財団法人「公園・園・夢プラン大賞20
財団」(東京都)の公19の「実現した夢部

門」で、前橋市富士見地区の遊休農地を活用して稲作に取り組む勢多農林高と前橋工大が、優秀賞を受賞した。

同大賞は全国の公園を舞台に実施されたイベントや今後実現したいアイデアを募集。同部門は全国から38プランの応募があり、最優秀賞1点、優秀賞2点、入選5点が選ばれた。

同高と同大地域・交通計画研究室は、授業の一環として約10㍎の水田で2017年から米作りを開始。前橋市中央児童遊園「るなばあく」内の飲食店「おむすびのママ」で、収

穫したコメを使って来園した親子とおにぎりを作るワークショップを開いている。

取り組みに参加している同高1年の立田優希さんは「精いっぱいやってきたことが評価されてうれしい。もっとおいしいコメを作れ

るように頑張りたい」と喜びを語る。

高大連携を進める同大の森田哲夫教授は「公園を中心に新たなコミュニティが構築された。生徒や学生のモチベーション向上にもつながる」と話している。